



ロケ支援 映画『キングダム』 4/19 (金)全国劇場公開

フィルム・コミッション事業で“裾野”の魅力を発信！ まちのにぎわいづくり



市では「富士すそのフィルム・コミッション」を設立し、映画やテレビドラマなどの映像作品の誘致、支援に取り組んでいます。

4月19日(金)に、昨年市内でも撮影が行われた映画『キングダム』が全国劇場公開されます。須山地区に国内唯一のロケセットが設置され、延べ200人を超える市民の皆さんがボランティアスタッフやエキストラとして作品に参加しました。裾野でクランクアップを迎えた同作品は、市内で撮影された場面が映画の前半に登場し、主人公が夢に向かって走り出す印象的なシーンとなります。ぜひ、市民協働によるロケ支援作品を劇場でご覧ください。

シビックプライド推進室

☎ 995-1803

■作品概要

作品：映画『キングダム』

出演：山崎賢人、吉沢 亮、長澤まさみ、橋本環奈 他

監督：佐藤信介

原作：原 泰久「キングダム」(集英社「週刊ヤングジャンプ」連載)

■ストーリー

中国春秋戦国時代を舞台に、大將軍になるという夢を抱く戦災孤児の少年・信と、若き王・嬴政(後の秦の始皇帝)の中華統一という夢を壮大なスケールで描く物語。

■市内ロケ地

須山十里木ロケセット、富士サファリパーク管理牧草地

■近隣上映館

シネマサンシャイン沼津(沼津市大手町)、ジョイランドシネマみしま(三島市梅名)

シネプラザサントムーン(清水町玉川)

須山十里木ロケセット

約2週間に渡り、市民ボランティアの皆さんがロケセットの生垣づくりや造成された土の道に草の移植作業を行いました。美術チームからの休作中の畑に緑がほしいという要望に応えるため、育ちの早い蕎麦や大根の種をまき、育てました。



ボランティアとして参加

村井之俊さん、藍さん

草の移植作業は、根気も必要でしたが、完成に連れて風景が変わり、映画づくりのこだわりを体感しました。市内にこんな魅力的な風景があることも初めて知りました。どんな場面で使われるのか公開が楽しみです。

裾野ロケを振り返って

制作担当 (ロケ現場責任者)
吉田信一郎さん



私は2度目の裾野ロケでした。多くの市民の皆さんにご協力いただき、準備期間2カ月を経て迎えた撮影日。富士山の麓に広がる壮大なロケーションで、共にゼロから作り上げたセットがモニターに映し出された瞬間、その感動とみんなの表情が忘れられません。



裾野市の皆さんへ

映画監督 佐藤信介さん

古代の中国を舞台にした壮大なスケールの映画『キングダム』。その一部、長い冒険の出発点になる重要なシーンを、裾野市でロケしました。そして、さまざまな大変な撮影の最後が、実はこの裾野ロケでした。全ての撮影を終えた山崎賢人さんの熱いスピーチ、万感の思いでの撮影終了宣言。その記憶は決して消えないでしょう。

須山十里木ロケセット一般公開、パネル展

●ロケセット一般公開

時 4月20日(土)～5月6日(月)の土・日曜日、祝日
9時～15時

所 須山十里木蕎麦畑 (富士山資料館東側)

内 ロケセットの一般公開、小道具、パネル展示

●パネル展

時 4月15日(月)～5月10日(金)の平日 8時30分～17時15分

所 市役所1階ロビー

内 ポスターや出演者の色紙、裾野ロケを含むスチール写真などの展示